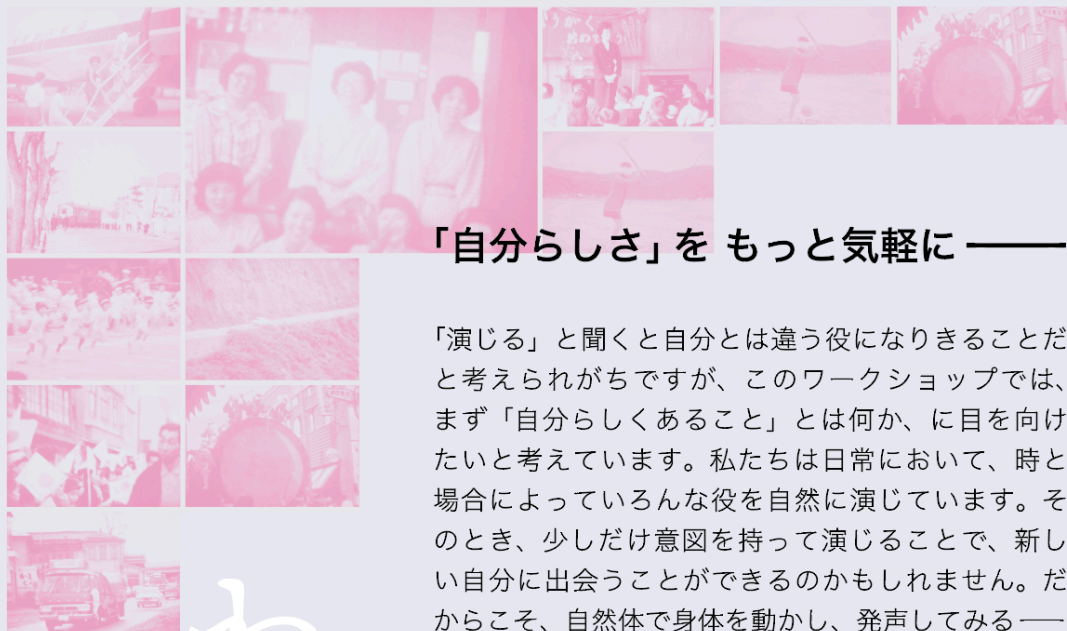


映像演技ワークショップ

申込締切 2022年9月7日(水)

参加者募集



「自分らしさ」をもっと気軽に——

「演じる」と聞くと自分とは違う役になりきることだと考えられがちですが、このワークショップでは、まず「自分らしくあること」とは何か、に目を向けたいと考えています。私たちは日常において、時と場合によっていろんな役を自然に演じています。そのとき、少しでも意図を持って演じることで、新しい自分に出会うことができるのかもしれません。だからこそ、自然体で身体を動かし、発声してみる——そんな「自分らしさ」の発見からワークショップはスタートします。演技の経験は全く必要ありません。日常に飽き足らず何か小さくても変化が欲しいと思っているような方、是非ご応募ください。自分と向き合いながら、全16回のセッションを通して、演じる対象について考えを深め、実際に身体を使って演じることについて探求していきます。そしてワークショップで作りあげるシナリオに沿って演じ、撮影しながら、映像演技を経験します。

期 間 2022/10/1(土)~2023/1/21(土)
毎週土曜・全16週・年末年始は除く
11:00~16:00(昼休憩あり)

講 師 石山友美(映画監督・秋田公立美術大学 准教授) 他
場 所 秋田市文化創造館 他
参加費 無料
定 員 10名程度



彼／彼女を
演じることは

わたしを知ると
ということ

カメラのレンズを通して一緒に創造 | 想像してみませんか？

■応募要項

募集内容 演技に興味を持つ者。10名程度。
応募資格 年齢・経歴 不問
受講期間 2022年10月1日～2023年1月21日
受講料 無料
応募締切 9月7日(水) 必着
結果通知 9月14日(水)

■応募方法

応募用紙を、締切日までに下記宛先まで郵送かメール添付にて送付のこと。(応募用紙は、チラシの半分を切り取りご使用いただくか、お問い合わせいただければ、応募用紙をデータでお渡しいたします。)

※応募書類の返却は致しかねますので、ご了承ください。

■面接日・面接方法

面接日は個別に相談のうえ決定し、ご連絡いたします。面接はオンラインでの実施を予定していますが、ネット環境が確保できない場合など対面での実施もご相談承ります。

■応募先・お問い合わせ

郵送 〒010-1632 秋田県秋田市新屋大川町12-3
秋田8ミリフィルム・アンソロジー
(秋田公立美術大学内)
電話 018-888-8478 (秋田公立美術大学 企画課)
メール t_ishiyama@akibi.ac.jp (石山)

■スケジュール

10月1日(土) ワークショップ 開始日
以降、全16回、毎週土曜日開催します。(年末年始は除く)
1月21日(土) ワークショップ 最終日

■カリキュラム

ワークショップは、毎週、身体を動かすこと、発声することと同時に、演じる役について深く考察・分析し、セリフを参加者全員で考える、ということを両軸に進めていきます。毎週土曜日に定期的に集まるのは、自分らしさの発見のうえで他者を演じるという行為には濃密なコミュニケーションが必要であると考えからです。毎週みんなで集まっているんな話を気軽に聞きながら、話しながら「演じる」とは何か探求していきます。

|| 講師について ||

石山友美 (映画監督・秋田公立美術大学 准教授)

1979年生まれ。ニューヨーク市立大学大学院都市デザイン学研究科修士課程修了。もともと建築を学んでいたが、留学先のアメリカで映画制作に興味を持つようになり、帰国後制作に関わっていく。映画監督作に『少女と夏の終わり』

(2012) 東京国際映画祭正式出品作品、『だれも知らない建築のはなし』(2015)ヴェネチアビエンナーレ国際建築展正式出品作品。2017年から秋田在住。



|| 素材としての8ミリフィルムについて ||

講師の石山友美を中心として活動している秋田8ミリフィルム・アンソロジーは2018年から秋田県内の各家庭に眠っていた8ミリフィルムの収集をしてきました。収集した8ミリフィルムは秋



田の人々の記憶の断片であり、豊かな物語の一端を担えるものです。ワークショップでは、素材としてこれらの8ミリフィルムの映像に宿る声に耳を傾けます。ほとんどの8ミリフィルムは音がありませんが、映像を見て、そこに映っている人々の生活の営みに触れ、その人の立場になって

考えてみる——それは、すでに相手を「演じる」ということの始まりだと考えています。具体的には、8ミリフィルムで描写されたいくつかのシーンを抜き出し、シーン内のセリフを参加者全員で考え、シナリオを創作しながら、演じることに挑戦します。

|| 映像制作について ||

ワークショップ内で、参加者全員で短編映像を制作します。参加者は実際に演者としてカメラの前で演技するのはもちろんですが、撮影のために必要なことを自分たちで進めていきます。映像制作と聞くと難しく聞こえるかもしれませんが、技術的なサポートは、映画制作のプロも交えて行っていきますので安心して下さい。映像制作の現場を経験することで、自分たちの演技がどうみられるか、客観的な視点を獲得できます。

しかし、なにより、一つの映像をみんなで作る、という楽しい制作現場を経験してほしいと思っています。演技だけに限らず、映像制作全般にご興味ある方もぜひご応募下さい。(ただし、演技のワークショップにも参加していただきます。)



演じることで 新たな可能性にひらく